

## 「丹後とり貝」 育成用種苗の生産を開始

海洋センターでは、京のブランド産品として水産物では初めての認定を受けた「丹後とり貝」の生産に用いるトリガイ種苗（稚貝）の生産をゴールデンウィーク明けから開始しました。

3回にわたる採卵作業を終えて、屋内の水槽で約2週間飼育した後、現在は、海面の筏に移して飼育を行っており、稚貝は順調に成長しています。

稚貝は約1cmになるまで当所で飼育し、漁業者には6月末から約55万個を順次配布する予定です。稚貝は約1年かけて育成され、来年の初夏には、高級食材の「丹後とり貝」として出荷されます。



上：トリガイの採卵

左下：約 1 mm に成長した生後 15 日の稚貝 右下：海面筏への移行